

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2	対象	第2学年A組～E組
使用教科書 (出版社)	新家庭基礎 (教育図書)		使用教材 (出版社)	生活学Navi (実教出版)			

月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	I 人とかかわる 第1章 青年期と家族 ・生き方の多様性とこれからの人生 ・青年期の自立	・これからの人生を想像し、自立に向けて目的意識をもつ。 ・生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解する。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	6
5月	I 人とかかわる 第1章 青年期と家族 第2章 保育 ・子どもの成長、発達、健康、安全	・人の一生は法律や制度との関わりが深いことを理解する。 ・乳幼児の身体的特徴と発達について理解する。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	6
6月	第2章 保育 ・子どもを取り巻く環境、親の役割 第5章 衣生活 ・衣服の選択と自分らしい衣生活	・遊びの意義や児童文化財の子どもへの影響、親の役割や子どもを生み育てる意義について考える。 ・状況に合わせた衣服選択の大切さを理解し、社会生活に生かすことができる。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	8
7月	・衣服の表示・トラブル・機能 ・衣服の材料・管理・流通	・資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画をたてることができる。 ・基本的な衣服製作の技術を身につける。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	4
9月	II 暮らしをつくる 第4章 食生活 ・栄養と食品、食生活の課題 ・食品の選択、保存	・日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的視点から理解する。 ・食生活の多様化や環境の変化を知り、食生活と環境の関わりについて科学的に考える能力を身につける。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	8
10月	・食品の取り扱い、安全性 ・食事の計画と調理	・現代の食生活における食の安全に関する基礎的な知識を理解する。 ・調理の基本的な技術を身につけ、健康・安全を考えた調理ができるようになる。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	8
11月	・食事の計画と調理 ・食料の輸入と生産 第6章 住生活 ・住まいの選択と自分らしい衣生活	・調理の基本的な技術を身につけ、健康・安全、環境を考えた調理ができるようになる。 ・生涯発達の視点で、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択ができる。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	8
12月	・ライフスタイルと間取り ・住まいの安全、安心・環境	・家族の状況に合わせて住まいを変えていく必要性について理解する。 ・安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために必要な住居の機能について理解する。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	4
1月	・持続可能な住まい・まち 第3章 高齢者 ・高齢期の心身の特徴	・私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り、まちづくりに参加する重要性を理解する。 ・高齢期の心身の特徴や生活について理解する。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	6
2月	第3章 高齢者 ・高齢者の理解と超高齢社会、高齢者福祉	・日本の高齢化の現状、日本をとりまく社会福祉など、高齢社会の現状と課題について理解する。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	8
3月	第7章 消費生活・環境 ・消費者問題の現状と課題 ・家計の仕組み、管理 ・消費者の権利と責任	・家計管理について具体的な事例を通して、シミュレーションすることができるようになる。 ・生活情報を活用するために必要な情報リテラシーを身につける。	定期考査・課題提出・授業への取り組み	4